

リフォーム工事で働き方改革 ～職場の動線を見直そう～

特定非営利活動法人 ともに 指定障害児通所支援事業所すくすく

奈良市青山 労働者9名
(男性0名、女性9名、うちパート6名)
障害者福祉施設



<取組のきっかけ>

事業所の正面玄関には階段があり車イスが通行できないため、送迎時には、毎回従業員が利用者（小学6年生までの障害のある子供たち）を抱きかかえて階段を昇降していた。業務効率が悪く、利用者と従業員が転倒等をする危険があるため、懸念事項となっていた。

利用者が
転落する危険

階段で
転倒する危険



2人掛かりの
非効率な業務

従業員の
腰痛リスク

<奈良労働局の助成金>

業務改善助成金

中小企業・小規模事業者が対象の助成金で、生産性向上のための設備投資（機械設備の導入等）を行った場合に、その費用の一部を助成します。

事業場内で最も賃金が低い労働者の賃金額を一定額以上引き上げることが条件です。

（詳細は、奈良労働局 雇用環境・均等室にお問い合わせ下さい。）

業務改善助成金

検索

<取組内容>

- ・ 労働局の助成金を活用し、駐車場のリフォーム工事を実施
- ・ 正面玄関の階段を使わずに、駐車場から出入りできるようレイアウトを変更
- ・ 利用者を車イスに乗せたまま、事業所と送迎車間の移乗が行えるよう勝手口の幅を拡張

before

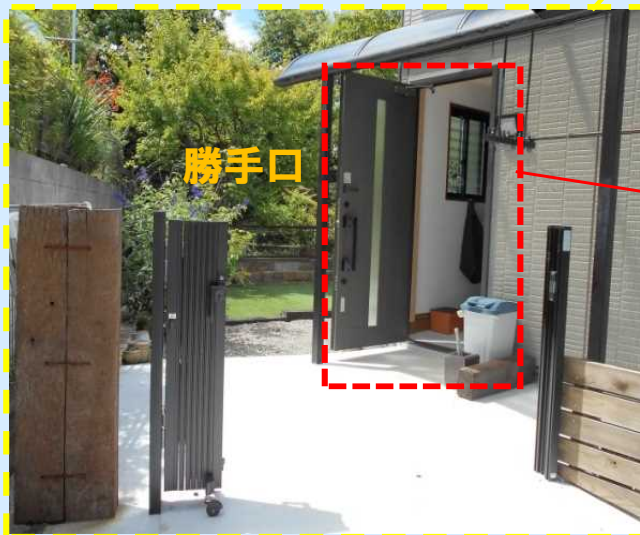


駐車場と庭の境界に壁があるため、階段を昇降しないと出入りできない

after



壁を撤去し、駐車場のスロープを勝手口まで延長



勝手口の幅を拡張し、車イスの出入りが可能に

<取組の成果>

- ・ 利用者と従業員が転倒等によるケガをするリスクの低減
- ・ 移動介助の業務効率が向上（2人作業→1人作業へ、所要時間15分→10分へ）
- ・ 業務効率が向上に伴い、従業員の賃金引上げ
- ・ 駐車スペースの拡大（2台→5台へ）により利便性が向上

<理事長 中井希史子さんからのコメント>

動線を見直すことで業務効率と安全性が向上し、使い勝手の良い職場に生まれ変わりました。リフォーム工事費用の一部が労働局から助成されたので、非常に助かりました。